

平成 30 年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (平成29年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒自らが課題を発見、探求して課題を解決する意欲と力を高められるよう教育課程の再編に取り組む。</p> <p>②生徒の主体的な学びを引き出し、生徒一人ひとりに応じた教科指導体制と学習評価体制を確立し、不断の授業改善に取り組む。</p>	<p>①生徒の課題解決力や学ぶ意欲を育むとともに、大学入試改革や新学習指導要領に柔軟に対応できる教育課程の改訂に引き続き取り組む。</p> <p>②インクルーシブ教育推進実践校として、生徒個々のニーズを共有し丁寧な学習支援とTT体制、学校設定科目の内容の整備など柔軟な教科指導体制を実践する。</p>	<p>①朝読書を含めた探求型総合的学習の時間の実践と検証を行うとともに、大学入試改革に向けた英語力の向上の具体策を検討する。【教務】</p> <p>②生徒の主体的な学びと支援教育の推進及びTT体制の検証、ICT機器の活用、学校設定科目の充実を授業研究のテーマとし、組織的な授業改善を図る。【教務 相談支援】</p>	<p>①教育課程検討会を定期的に開催し機能化させ、教育課程の改訂に向けた具体的な検討と改訂を行うことができたか。</p> <p>②生徒個々のニーズに応え、主体的な学びを引き出す授業や指導方法について、教科担当者間の連携や計画的に研究授業や研究協議を行うことができたか。</p>
2	生徒指導・ 支援	<p>①生徒数の減少の中で部活動の活性化を推進し、協調性と責任感の涵養を図る。</p> <p>②学校行事や生徒会活動の精選と活性化を進め、生徒とともにユニバーサルデザイン化（以下UD化）を推進する。</p> <p>③生活指導と生徒支援の一体化を推進し教育相談体制の拡充と外部連携を進める。</p>	<p>①部活動の環境整備と安全面に配慮し、部活動における生徒の達成感や充実感を育み、部活動の活性化と学業との両立を押し進める。</p> <p>②人権尊重の視点に立った教育活動を推進するとともに、個に応じた指導と支援の一体化に向けた「チーム力」の向上を図り、きめ細やかな生徒支援を進める。</p>	<p>①部活動の活性化のため加入率の向上と充実感に育成につながる継続的な支援体制整備に努めるとともに、活動休養日の設定など課題への共通理解を図る。【生徒会】</p> <p>②教職員、生徒の人権意識を高めるために有効な研修、講演会を企画実施するとともに、関係グループ間の連携強化や教職員個々のカウンセリングマインドや指導力の向上を図る。【相談支援・生徒指導】</p>	<p>①部活動加入率（70%超）の維持、増加だけでなく、途中退部に係る分析や対応策を検討できたか。学業とのより良い両立を目指した支援が行えたか。</p> <p>②研修、講演会を実施することで人権尊重の意識向上につながったか。グループ間や支援会議との連携及び生徒指導と生徒支援の融合を進めた柔軟な体制づくりができたか。</p>
3	進路指導・ 支援	<p>①生徒自身が、体験し考えるキャリア教育計画を計画し、その実践を進める。</p> <p>②インクルーシブ教育実践推進校として、すべての生徒一人ひとりの社会接続が確実に実現されるよう、丁寧な進路支援を進める。</p>	<p>①生徒一人ひとりの進路実現に向け学習指導と進路指導の両輪の連携と強化を図るとともに、中長期的な指導計画と生徒の成長やニーズの変化に対応できる柔軟な指導体制づくりを進める。</p> <p>②生徒一人ひとりの進路選択能力を高めるため、インターンシップや医療・看護体験、保育実習の拡充、学校設定教科「進路実践」の充実を努める。</p>	<p>①生徒の希望する進路や社会接続を保障するため、安易な進路選択に向かわせない指導を行うとともに、進路路指導・支援に係る教職員の研修機会を確保する。【進路】</p> <p>②社会や職業に対する認識を深めるためのインターンシップの充実、「進路実践」の内容の系統的整備を進めるとともに、幅広い実習・体験先の開拓を行う。【進路・支援会議】</p>	<p>①進路ガイダンスや進路相談を活用し、保護者と連携しながら生徒の進路に対する意識を高められたか。進路指導についての情報を校内共有できたか。</p> <p>②有効で計画的なキャリア教育の実践と各種試験の活用及び新たな実習・体験先の開拓ができたか。連携募集生徒の社会接続につながる取り組みができたか。</p>

	視点	4年間の目標 (平成29年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
4	地域等との協働	<p>①地域に学校情報を積極的に発信するとともに、生徒の地域理解を進め地域貢献に積極的に取り組むなど、地域との協働を推進する。</p> <p>②地域と連携して、地域防災を推進する。</p>	<p>①学校ホームページ(以下HP)の更新や学校説明会の拡充、中学校訪問の整備を行い、地域に向けての積極的に丁寧な学校情報の発信に努める。</p> <p>②南足柄市と提携し、災害時における対応について、避難所訓練や「避難所初動対応マニュアル」の作成に組み、地域防災体制の整備に努める。</p>	<p>①生徒・保護者や中学生及び地域の方々など、それぞれのニーズを把握し、HPや学校説明会、中学校訪問等において取組みを積極的に発信する。【情報管理】またコミュニティスクールの実施に向け、学校評議員会議の活性化に取組む。</p> <p>②災害に備えた体制整備と対応確認を南足柄市及び関係機関との連携を強化する。【管理運営】</p>	<p>①HPの定期的な更新や学校説明会等で、情報の質と量の確保、的確な情報提供と丁寧な対応ができたか。地域との情報共有を進められたか。</p> <p>②南足柄市と協議を行い「避難所初動対応マニュアル」を作成できたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①教育環境課題を洗い出し、安全安心な環境づくりに計画的組織的に取り組む。</p> <p>②校内施設と教育活動計画のバリアフリー化を進める。</p> <p>③不祥事防止に努め、実効性の高い組織的取組を行う。</p>	<p>①生徒への対応時間、教材研究の時間を確保していくとともに、高いモチベーションを持って働くことができる職場環境を整備し、教職員の働き方改革を推進する。</p> <p>②教職員一人ひとりが自覚と誇りをもち、全校体制で不祥事防止の徹底に取り組む。</p>	<p>①業務や諸会議の効率化を図るとともに、相談支援グループの発展的解消に向けた校務グループの再編を念頭に、グループ業務、学年業務の精選、整理を行う。</p> <p>②良好な教職員のコミュニケーション関係の構築と職場環境づくりを進めるとともに、定期的な不祥事防止研修を行い、未然防止に努める。</p>	<p>①グループ業務、学年業務の精選、整理に計画的かつ迅速に取組めたか。</p> <p>②不祥事未然防止に対する教職員の意識向上とコンプライアンスマニュアルを活用した効果的な不祥事防止研修を行い、事故・不祥事ゼロを達成することができたか。</p>